

暮らしに役立つ情報満載

住まいる

S M I L E N E W S

日 ユ ー ス

2019 3 おかげさまで 100 号目

今月の特集

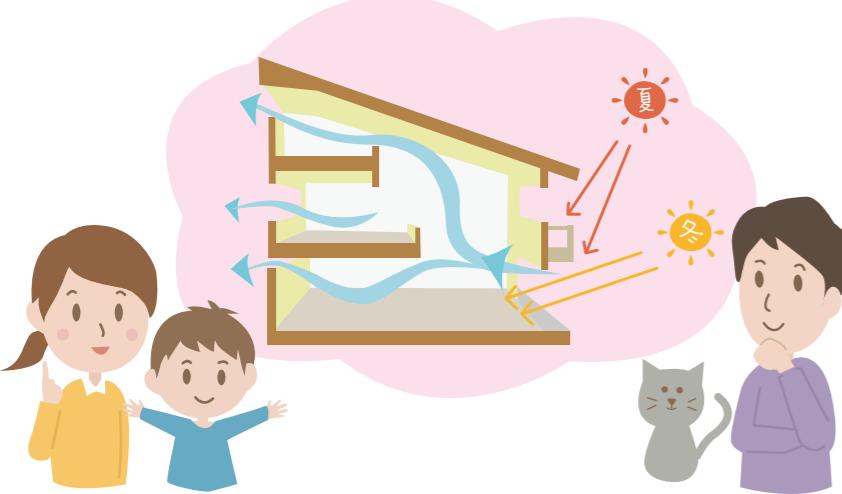
自然エネルギーで 快適な住まいづくり パッシブデザインの 考え方

2020年の省エネ基準改正に先立ち、最近注目を浴びている「パッシブデザイン」という考え方。太陽光や風などの自然エネルギーを最大限に活用して住まいを快適な住環境にするパッシブデザインの魅力についてお伝えします。

太陽の熱と光を上手にコントロール
建物のあり方を工夫して自然を有効活用することで極力電気などを使わずに省エネルギーで快適な暮らしを実現するパッシブデザイン。その手法は「①日射遮蔽」「②日射熱利用暖房」「③屋光利用」「④自然風の利用」「⑤高断熱・高気密化」の5つの項目からなります。一つめの「日射遮蔽」とは、夏の暑い時期に室内に直射日光が入り込むことを防ぎ、涼しさを確保するという方法です。具体的には、ひさしやサンシェードの設置などが考えられます。「日射熱利用暖房」はその逆で、冬期に暖かい太陽光を家の開口部から受け、その熱を蓄熱させ

高断熱・高気密がパッシブデザインの大前提

同じ気温でも風の強弱で体感温度が変わり、風速1メートルで体感温度が1度下がるといわれています。この効果を利



て夜間に暖房として使うという方法。例えば、コンクリートなどの蓄熱効果の高い土間床に熱を蓄えて室内を温めることなどが考えられます。基本的には、日射熱を上手にコントロールして「夏は涼しく、冬暖かく」を省エネで目指すのがパッシブデザインの考え方です。三つめの「屋光利用」は、窓の位置や大きさを計算することで照明がなくても室内を明るくするアイデアのことです。

室内温度をコントロールするには、まず大前提として、室内の「高断熱・高気密化」による断熱性能の確保が必要だとパッシブデザインでは考えています。「FPの家」はその点、全く心配なく、外気の寒暖の影響を受けにくい「FPウレタン断熱パネル」で家全体を取り囲んでいるので、パッシブデザインの家を実現するにはうってつけの住宅といえるでしょう。

太陽熱や光や風などを有効に活用して、自然を感じながら快適な住空間を作り出すパッシブデザイン。魅力的な住宅作りには欠かせない考え方です。

住まいのメダリスト

ハザードマップ

ハザードマップは、地震や津波、洪水などで被災する危険がある地域やその被害の大きさを予測して地図化したもの。自宅近くの避難経路や避難場所を事前に把握しておくべき、災害時に役立てることができるほか、宅地購入時の参考にもなるので、ぜひ、チェックしておきましょう。マップで確認するポイントは3つ。1つはその地区でどのような被害を受ける可能性があるのか。2つ目に近くの避難場所、3つ目は避難場所までの経路です。自宅近くの避難場所への経路は少なくとも2つ以上、シミュレーションしておきましょう。ハザードマップは、各自治体の窓口やホームページで確認できるほか、国土交通省のハザードマップポータルサイトでも入手することができます。



クッションテーブル

今回は、膝に乗せてもソファの上でも活躍するクッションテーブルの作り方をご紹介。材料は100円ショップのスノコを2枚、スノコの大きさに合ったクッションとクッションカバー各1、1mヒモ1本、額縁などに使用する吊カン5つ。まず、1つのスノコをベースに、もう一つのスノコを分解して板部分を、ベースのスノコの隙間に木工ボンドなどで貼り付け一枚板のようにします。スノコの裏側の四隅と真ん中に吊カンを取り付けて、クッションカバーに付けたヒモを結びつけます。あとはクッションの中身をクッションカバーに入れたら完成です。クッションがあるので、膝の上に乗せても痛くならないし、ひっくり返せばクッションとしても使えるので便利ですよ。



お金の豆知識

スマホ決済

最近、話題のスマホのQR決済。基本的には入金手数料は無料で、お支払い時にQRコードをスマホで読み込むタイプと、スマホで表示したQRコードを読み取ってもらうタイプの2種類があります。送金やチャージ後の金額を銀行に戻す機能があるサービスもあります。スマートフォンが便利になりますね。



暮らしのワンPOINT



ぼた餅

お彼岸と言えば「ぼた餅」。地域によっては「おはぎ」とも呼ばれます。若干の違いはありますが、基本的に牡丹餅と書きます。牡丹の花が咲くのは春、萩の花が咲くのは秋なので、厳密には「ぼた餅」は春のお彼岸、「お萩」は秋のお彼岸と季節によって呼び名が変わることがあります。

教えて！Dr.住まいる

壁紙クロスのお手入れ

壁紙についた食べ物や飲み物などの汚れを長い間放置しておくと、取れなくなることもあります。ビニール製の壁紙であれば、水を固く絞った布で拭き取れば、だいたいの汚れは落ちますが、落ちにくい汚れは中性洗剤を使ってみましょう。紙壁紙の場合は乾いた布でふき取ります。消しゴムで軽くこすって汚れが落ちる場合もあります。

